

引用文献

- 明田朋子,児島恵子,渡邊めぐみ,日栄美輪,山田晃子,伊原善恵.(2007).臨地実習における看護学生の倫理的体験の特徴—自記式アンケート調査による分類—.大阪医科大学付属看護専門学校紀要,(13), 34-38.
- 青森広美.(2014).3年課程看護専門学校の教員が臨地実習において指導した倫理上の問題場面.埼玉医科大学看護学科紀要,7(1),19-28.
- Bazerman M. H. and Tenbrunsel A. E.著,池村千秋訳.(2011/2013).倫理の死角.NTT出版.
- Beauchamp T. L. and Childress J. F.著,立木教夫,足立智孝訳.(2001/2009).生命医学倫理 第五版.麗澤大学出版会.
- Benner P. (2010/2011).早野 ZITO 真佐子(訳).ナースを育てる.医学書院
- Benner P., Tanner C., Chesra C. (2009/2015).早野 ZITO 真佐子(訳)看護実践における専門性.医学書院.
- Benner P., Kyriakidis P. H., Stannard D. (2011/2012). 井上智子(監訳).ベナー看護ケアの臨床知 行動しつつ考えること(第2版)(p.33).医学書院.
- 武用百子,服部園美,鹿村眞理子,鈴木幸子,坂本由希子前馬理恵... 志波充.(2013).学生の学習する権利に影響する要因と権利を保障するための実習指導—教員と実習指導者のグループディスカッションから—.和歌山県立医科大学保健看護学部紀要,9,45-50.
- Davis A. J., Tschdin V., Raeve L. (2006/2008).小西恵美子(監訳).看護倫理を教える・学ぶ 倫理教育の視点と方法(pp2).日本看護協会出版会.
- Erdil F. and Korkmaz F. (2009). Ethical problems observed by student nurses. Nursing Ethics, 16(5). 589-598.
- 藤原舞.(2014).臨地実習指導者の肯定的な思いと困難感についての文献検討.神奈川県立保健医療福祉大学実践教育センター 看護教育研究集録.(39).p104-111.
- 福留はるみ.(1999).倫理的感受性と倫理的意思決定 倫理的問題を明確化するためのトンプソンの分類について.看護,51(2),32-38.
- Fry, S. T. and Johnstone M. (2008/2010). 片田範子,山本あい子(訳).看護実践の倫理 第3版 倫理的意思決定のためのガイド.日本看護協会出版会.
- Gaberson K. B. and Oermann M. H. (1999/2002). 勝原裕美子(監訳).臨地実習のストラテジー. 医学書院.p71.
- 今井道夫.(1999).生命倫理学入門.産業図書.

- 石井俊行,荒井葉子,清水暁美.(2009).看護大学生の基礎看護学実習 I における学び—看護職者に必要な態度についてレポートからの分析—. *日本看護学会論文集 看護教育*.(39),103-105.
- 伊藤政子,井上真弓.(2010).学生が臨地実習でとらえた看護倫理問題と看護倫理教育の課題. *横浜創英短期大学紀要*,(6),47-54.
- 和泉成子.(2005).看護における倫理—看護倫理の意義と教育のあり方—. *看護展望*.30(8).24-31.
- 金沢暁民,伊藤由紀枝,常石光美,口藏真由美,榎洋子.(2007).当校学生の2年次における倫理的感受性の実態. *中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会誌*.(3).294-297.
- 加藤彰,平山和美,青木久美子,菅原多栄子.(2009).看護師が学生カンファレンスに参加することによる有効性—指導に対する考え方と学生へのかかわりへの変化—. *日本看護学会論文集 看護教育*. (39). 86-88.
- 勝山貴美子,勝原裕美子,星和美,鎌田佳奈美,ウィリアムソン彰子.(2010).過去5年間の倫理に関する研究の特徴と今後の課題. *日本看護倫理学会誌*,2(1),77-86.
- 北川さなえ.(2010).臨地実習で看護学生が感じる倫理的問題場面. *東京厚生年金看護専門学校紀要*.12(1).1-4.
- 喜多里巳,谷津裕子,新田真弓,神谷桂,平澤美恵子.(2007).周産期医療における倫理的問題に関する看護者の学習体験—継続的なグループディスカッションを通して—. *日本赤十字看護大学紀要*.21.14-23.
- 小林正弥 (2015) 正解を決めていない授業のありかた 医療・看護における対話力とは. *看護教育*.56(11).1076-1081.
- 小林道太郎,竹村淳子,真継和子,山内栄子,太田名美.(2012).看護倫理に関する歴史的的外観. *大阪医科大学看護研究雑誌*,2,60-67.
- 小林麻由子,鶴若麻理.(2014).臨床実習で看護学生が遭遇する倫理的問題の現状と倫理教育の課題. *臨床死生学*,18(19),35-45.
- 古城幸子,木下香織,馬本智恵.(2004).老年看護学実習での学生の看護ジレンマ—ジレンマの対処過程と教育的対応—. *新見公立短期大学紀要*,25,63-71.
- 厚生労働省 (2007) 看護基礎教育の充実に関する検討会報告書 .
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/04/dl/s0420-13.pdf>.
- 栗本一美,太田浩子,古城幸子,金山時恵,白神佐知子.(2003).看護基礎教育における実習場面

- での看護ジレンマに関する予備的調査—基礎看護学実習 I を経験した学生の体験を通して—.日本看護学会論文集 看護教育,(34),44-46.
- 栗本一美,古城幸子,太田浩子,金山時恵,真壁幸子,白神佐知子,木下香織.(2005).臨地実習での学生の看護ジレンマ(第 2 報)—事例分析による教育的対応の検討—.看護・保健科学研究誌,5(2),41-46.
- 水野智子,今川絢子,長谷川真美,小野寺杜紀,波多野梗子.(1997).看護ジレンマと看護倫理教育に関する研究(第 2 報)—基礎看護実習を経験した学生の分析—.埼玉県衛生短期大紀要(22),55-63.
- 水澤久恵.(2009).病棟看護師が経験する倫理的問題の特徴と経験や対処の実態及びそれらに関連する要因.生命倫理,19(1),87-97.
- 永井睦子,原寿子.(2009).臨地実習指導における実習指導者と看護教員の連携.屋宜譜美子,目黒悟(編).教える人としての私を育てる.医学書院.
- 夏目美喜子.(2015).看護学実習における患者情報取り扱い上の問題と指導についての検討—情報プライバシーの視点から—.発行元 <http://hdl.handle.net/2237/22946>
- 日本看護協会.(2007).看護業務基準(2006 年度改訂版).
- 新村出(編).(2008).広辞苑.岩波書店.
- 大場健,井上達夫,加藤尚武,川本隆史,神崎繁,塩野谷祐一,成田和信編.(2006).現代倫理学事典.弘文堂.
- 荻野雅,中野睦子.(1993).看護学生が臨床で遭遇する道徳的葛藤の同定.日本赤十字看護大学紀要(7),21-33.
- 大畑政子,原祥子.(2007).老年看護学実習における学生の倫理的ジレンマ.島根大学医学部紀要,30,1-9.
- 大日向輝美,堀口雅美,酒井英美,木口幸子,田野英里香,稲葉佳江.(2002).初期看護学実習における学生の倫理的体験に関する検討.札幌医科大学保健医療学部紀要(5),35-43.
- 大西香代子.(2005).教員のロールモデルとしての役割と倫理的能力.看護展望,30(8),43-48.
- 小野晴子,土井英子,山下妙子,氏家美智子,石本陽子,谷口さゆり.(2010).臨地実習で看護学生が感じる倫理的葛藤と教育上の課題.日本看護学会論文集 看護管理,(41),156-159.
- Potter V. R. (1971/1974).今堀和友,小泉仰,斎藤信彦(訳).バイオエシックス—生存の科学.ダイヤモンド社.
- 坂上百重,内山美枝子,瀬倉幸子,丹野かほる.(2008).看護学生の「倫理観」育成の初段階にお

- ける学習効果.新潟大学医学部保健学科紀要,9(1),11-19.
- 三森ゆりか.(2013).教育は「対話」から始まる 対話のスキルを身につけよう.看護教育 54(10),882-886.
- 佐藤友美.(2005).看護学生が捉えた倫理問題—基礎看護学実習の体験の中で.日本看護科学 会誌,25(3),92-95.
- 志自岐康子.(2015).看護基礎教育における倫理教育の在り方—現状と今後の課題—.関西看護医療大学紀要,7(1),3-11.
- 白神佐知子.(2005).看護ジレンマに対する学生の対処過程の変化とその要因—3 事例の分析 から—.新見公立短期大学紀要,26,103-113
- 白神佐知子,真壁幸子,太田浩子.(2004).成人看護学実習での学生の看護ジレンマ—ジレンマ の対処過程と教育的対応—.日本看護学会論文集 看護総合,(35),64-66
- 白神佐知子,古城幸子,木下香織,真壁幸子,太田浩子,金山時恵,栗本一美,土井英子.(2005).臨地 実習での学生の看護ジレンマ(第1報)—看護ジレンマの対処過程と教育的対応—.看護・ 保健科学研究誌,5(1),181-188.
- 白浜雅司.(2001).日本における臨床倫理の適応.インターナショナルナーシングレビュー ー,24(3),78-85.
- 白木裕子,松澤明美,津田茂子.(2015).小児看護学実習における倫理カンファレンスについて の学生の主観的評価.日本小児看護学会誌,24(2),58-64.
- Solum. E. M., Maluwa V. M. and Severinsson E.(2012).Ethical problems in practice as experienced by Malawian student nurses.Nursing Ethics,19(1),128-138.
- 菅原澄江,安藤高子,松元由美.(2010).看護学生の倫理的問題及び倫理的判断能力に関する研 究—臨地実習場面の振り返りから教育のあり方を考える—.日本看護学会論文集 看護 教育,(40),48-50.
- 高田早苗.(2003).看護倫理をめぐる議論,看護白書,平成 10 年度版,日本看護協会編,3-19,日本 看護協会出版会.
- 武村妙子,善浪正子.(2005).学生参加カンファレンス導入による臨地実習指導の効果.日本看護 学会論文集 看護教育,(35), 253-255.
- 田村由美,津田紀子(2008)リフレクションとは何か その基本的概念と看護・看護研究におけ る意義.看護研究,41(3),171-181.
- Tanner C. A. (2006). Thinking Like a Nurse: A Research-Based Model of Clinical

Judgment in Nursing. *Journal of Nursing Education*. 45(6). 204-211.

Thompson J. E., Thompson H. O. (1992/2004). ケイコ・イマイ・キシ, 竹内博明, 山本千紗子 (監訳). 看護倫理のための意思決定 10 のステップ(pp.136-137). 日本看護協会出版社.

坪井桂子.(2010). 高齢者看護学実習における看護倫理上の課題に取り組むための教育方法の検討. *岐阜県立看護大学紀要*,10(2),19-27.

Tsuruwaka M.(2014). Crucial ethical problem for Japanese nursing students at clinical settings. *Journal of Nursing Education and Practice*. 5(12), 17-24.

鶴若麻理,川上祐美.(2013). シラバスからみる看護学士課程の「看護倫理」教育. *日本看護倫理学会誌*5(1).71-75.

浦山絵里.(2013). 語り場づくりから始めよう ファシリテーションスキルを用いた「場づくり」の提案. *看護教育*.54(10).912-919.

和辻哲郎.(1951). 人間の學としての倫理學. 岩波全書.

山田聡子,波多野梗子,小野寺杜紀.(1999). 実習場面における看護倫理教育に関する研究(第二報)—倫理的課題別指導者の認識内容とその比較—. *日本看護学教育学会誌*,9(3),1-13.

山崎千枝美,森千鶴.(2004). 倫理的問題遭遇時の学生の反応と教員のかかわり—手術を受ける患者の看護学実習を中心に—. *日本看護学教育学会誌*,14,120.

吉澤千登勢.(2007). 学士課程における「看護倫理」教育のあり方—ジョン・ロックの教育論を分析の基礎に—. *日本看護医療学会雑誌*,9(2),11-17.